

カクワカ広島とは？

2017年にノーベル平和賞を受賞した

ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)の活躍、

キャンペナーたちの広島訪問、サーロー節子さんの力強いメッセージ、、、

その溢れるエネルギーを肌で感じた広島に住む“フツー”の若者が

「自分たちも今行動を起こさなければいけない」と思いを一つに集まりました。

高校生や大学生、会社員、カフェ店主たちが、緩やかにつながっています。

私たちが選挙で選んだ議員こそが、日本の政策の決定者。

彼らに直接会い、日本政府の姿勢に対する考えを尋ねます。

面会に応じた議員の核兵器禁止条約に対する賛否や意見は、SNSや報告会で発信。

選挙における有権者の意思決定に役立つようにと取り組んでいます。

カクワカ広島の「ワカ」には、「分か」りたい「沸か」せたいという意味も込めています。

2019年1月7日結成。代表は田中美穂。

※核兵器禁止条約…核兵器の開発・実験・保有・使用などを全面的に禁止する史上初めての国際条約。2017年7月7日に国連で122カ国の賛成により採択された。

やっていること

広島選出の国会議員の皆さん全員にお手紙を送付、電話でのアポ取り後、日程を調整して頂いた議員の方々から面会をお願いしています。アポ取りの進捗、面会で伺った内容は、カクワカ広島のウェブサイト・SNS上で随時発信しており、Youtubeには面会の様子をアップしています。活動が一区切りすると報告会を行い、面会の感触をシェアしたり、お越しいただいた方々から貴重なご意見を頂ける場となっております。

また、ICANのパートナー団体への申請を行い、国内では10団体目のパートナーとして登録して頂きました。

月1、2回のペースで行うミーティングでは、次回イベントに向けたアイデアや、もっと多くの人に知ってもらうためにはどうすれば良いかなどを話し合っています。



田中 美穂 (代表)

福岡県北九州市出身。広島市在住。ICANキャンペーンニュースの翻訳を通じて、カクワカメンバーと出会う。社会に関心を持つきっかけは、誰にでもそこら中に散らばっているはず。カクワカ広島の活動が誰かの些細なきっかけになればいいなと願って、日々邁進中。好きなものは、本とお酒。



川崎 梨乃

呉市出身。東広島市在住。障害者支援施設・生活支援員。被爆した祖父がきっかけで、核政策に関心を持ち始める。カクワカ広島に出会う前の私の様に、「関心はあるけど自分に何ができるかわからない…」そんな人へのこの活動を知ってもらい、共に学び、考え、行動し、繋がっていききたい。



児玉 梨里

広島市出身。高校時代から平和活動に取り組んでおり、核問題は常に身近なものであったが、高校卒業後に祖母が初めて私に苦しみながら被爆体験を語ってくれたことで、より一層この悲劇を繰り返さないようにすることが広島で生まれ育った被爆3世の私の使命だと痛感する。春から1年間の浪人生活を経て東京の大学に進学。



瀬戸 麻由

呉市出身。シンガーソングライター・Social Book Cafe ハチドリ舎スタッフ。大学時代に初めて被爆証言を聞いて「これは遠い話じゃないんだ」と気づき、核廃絶に興味を持った。歌やイベント企画を通して、この問題を「自分ごと」と思える同世代の仲間を増やしたいと思っている。



高橋 悠太

福山市出身。中高時代から、人権・平和活動に取り組む。仲間と、核兵器廃絶のための署名活動で街頭に立つなどし、核問題に興味を持った。核も、政治も、実は私たちの身近な問題。それらを敬遠せず、当事者から謙虚に学び、考え、自分の意思を表明することが大切だ。春から東京進学。ニックネームは、社長。



福岡 奈織

広島市出身。学生時代に被爆者の話を聞き、一緒に証言会を企画する等を通して、当事者との直接の対話が「出来事」をやわらかく身近にするのだと実感。政治の当事者の声も直接聞いて然るべきだと思いカクワカ広島に参加。政治家も対話できる人だったと当然のことを知る。最近のこだわりは、土と野菜。

核政策を知りたい広島若者有権者の会 カクワカ広島メンバー



安彦 恵里香 (発起人)

茨城県出身。「どこの誰でも、不条理に権利や命を奪われるのが嫌」との思いから、10年ほど様々なプロジェクトやイベントを開催。2年前広島にSocial Book Cafeハチドリ舎をOPEN。自分の頭で考え、様々な「差」を埋めることのできる場をつくっている。ICANのロビー活動にインスパイアされ、国会議員に直接聞く当プロジェクトを起草した。



若山 彩

福岡県出身の看護師。第99回ピースボートクルーズに乗船し、様々な各国の社会問題に触れる中で、解決したい社会問題の1つとして、核兵器を世界からなくすためにはどうしたら良いのかと考え始める。おりづるピースガイド4期生。



井元 遥花

広島市出身。被爆3世。幼少期から平和学習は受けていたが、中3でハワイ真珠湾を訪れ、自らの無知さに驚く。平和とは何かをより考えたいと思い、グローバル未来塾など様々なプロジェクトに参加する。広報として、多くの方にカクワカの活動を届け、盛り上げていきたい。共生社会を目指し大阪で勉強中。



田城 美怜

広島市出身。幼少期から原爆、被爆者、核問題は身近にあるものだったが、大人になるにつれ実際に自分が何をしているか、できるのか、という壁にぶち当たる。とにかく学び、考えたい。そして、私たちが直面している様々な社会問題を自分ごとと感じ、力を合わせて変化を生み出すために、できることをしていこうと動いている。

KNOW NUKES TOKYOは2021年5月3日に共同代表の高橋悠太と中村涼香が設立、活動を始めました。2人はそれぞれ被爆地の広島・長崎で中高時代、平和活動に取り組んでいました。しかし大学進学で上京後、被爆地の外で核の問題について考え、アクションを起こすことができる環境がとても少ないことに気づき、危機感を感じました。そして多くの仲間と出会い、環を広げてきました。

「東京で核の問題について一緒に考えたい！」それが設立の原点です。



高橋悠太 (共同代表)



中村涼香 (共同代表)



徳田悠希



中村生



高垣慶太



山口雪乃



本間のどか

MEMBERS

寄付のお願い

大切なことは、(大学卒業後も)持続可能なアクションにしていけることです。社会には本当に多くの課題が山積していますが、残念ながら、様々な時間的・経済的な制約があります。私たちは、実質的な解決に少しでも貢献するために、その制約を克服し、息長く関わり続けたいと思っています。

みなさん、KNOW NUKES TOKYOのサポーターになってください！そして、KNOW NUKES TOKYOと一緒に社会課題の解決のため、新たな一歩を踏み出しましょう！

多くの人との関わりやご縁を大切に、「核なき世界」の実現のため歩みを進めていきます。

お問い合わせ：info@know-nukes-tokyo.jp

寄付方法

①直接寄付する
以下の情報で直接、寄付ができます！

りそな銀行、新川崎支店、普通預金
口座番号：0096568
口座名義：ノーニユークストークヨー ダイ
ヒヨウ タカハシユウタ

②オンラインで寄付する
Syncableというサイトで「KNOW NUKES TOKYO」と検索し、サイト内の「寄付する」から寄付ができます。
<https://syncable.biz/associate/KnowNukesTokyo>

※マンスリーサポーター (300円から毎月寄付、継続的な支援をすることもできます！)

(OUR ACTIVITIES)

KNOW NUKES TOKYO では、国会議員との対話や被爆者と出会う場作り、ワークショップの開催などに継続的に取り組んでいます。



国会議員や外務省関係者と面会し、核兵器禁止条約への考えを尋ねて発信



核兵器を無くすためには私たちが必要と政治に問いかけていく必要があります。被爆地以外で、議員と一緒に考えたい、そして日本全体で議論するきっかけに。そんな思いから私たちは議員の皆さんに会いに行きます。直接会って、話しをすることで普段、メディアなどから流れてくる情報だけでは知ることができない、議員の皆さんの考えや本気度を知ることができ、本気で安心して政治を任せられるのか、常に政治を見ることが私たちに市民の役割です。私たちの活動と情報発信を通して、政治と市民のコミュニケーションを促し、国会を含む社会全体で議論を活発化することを目的としています。これまでに(2022.07)、東京選出の国会議員を中心に、6人の国会議員、1事務所、外務省との面会が実現しており、その対話の様子は面会レポートにまとめて公開しています。



きない、議員の皆さんの考えや本気度を知ることができ、本気で安心して政治を任せられるのか、常に政治を見ることが私たちに市民の役割です。私たちの活動と情報発信を通して、政治と市民のコミュニケーションを促し、国会を含む社会全体で議論を活発化することを目的としています。これまでに(2022.07)、東京選出の国会議員を中心に、6人の国会議員、1事務所、外務省との面会が実現しており、その対話の様子は面会レポートにまとめて公開しています。



ヒバクシャと会ってみよう

ヒバクシャとの新たな出会い
コロナ禍で証言会をオンライン開催。



これまでの証言会は、被爆者の方に「過去」を語ってもらう、ということが多かったように思います。しかし、オンライン被爆証言会「ヒバクシャと会ってみよう」では、KNOW NUKES TOKYOのメンバーも語り手として一緒に、被爆から現在に至るまでの人生の横を歩かせてもらう、そして想いを知る会にしたいと企画しています。被爆した当時の様子はどうか、被爆者としてどのような人生を歩んだのか、そして、今の社会に何を思うのか、その語りは被爆者一人一人異なると思います。普遍的な平和への願いに込められたパーソナルな体験と想いはより現実味をもって私たちに大切なメッセージを届けます。そうして、一緒に丁寧な言葉を紡ぐ時間は悲しみや怒りではなく、温かさで満たされているのです。



現在、被爆者の平均年齢は八十歳を超えています。被爆者の体は核兵器を無くさなければならぬ理由の原点であり、本質者です。一人でも多くの人に被爆者のメッセージを受けとってほしい、その一心で「ヒバクシャと会ってみよう」を毎月開催しています。

過去のオンライン被爆証言会「ヒバクシャと会ってみよう」の配信はKNOW NUKES TOKYOのYouTubeチャンネルにてアーカイブをご覧ください。

メディア掲載情報

- 1月22日 NHK world "Students hold event to interact with Hibakusha"
- 1月26日 NHK world "Nuclear Arms Ban Treaty 1 Year On"
- 1月28日 NHK world "Advocates of nuclear ban treaty try to build momentum for change"
- 4月24日 NHK world "Hibakusha renews call for nuclear abolition"
- 5月2日 NHK "憲法記念日特集「ウクライナ危機」平和主義 掲げる日本は